



総務省
あんしんしてインターネットをつかうために

国民のための情報セキュリティサイト

キッズ



キッズのための情報(じょうほう)セキュリティ対策(たいさく)

楽しくて便利なインターネット。でもインターネットをつかうときには気をつけなくてはいけないこともあります。

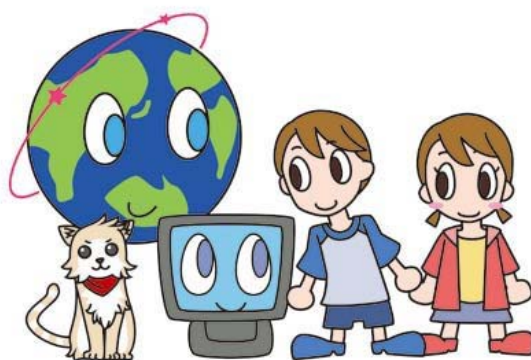
あんしんしてインターネットをつかうために、「情報セキュリティ」について、いっしょに学びましょう。

1. はじめに..... 3
 - 情報(じょうほう)セキュリティって何? 4
 - これだけはやっておきたい
 - 三つの情報(じょうほう)セキュリティ対策(たいさく)..... 5
 - ソフトウェアの更新(こうしん)をしよう! 6
 - ウイルス対策(たいさく)ソフトを使おう! 7
 - パスワードを守ろう! 8
 - ご家庭の方、教育関係者の方へ..... 9
2. 基礎知識(きそちしき)10
 - インターネットって何? 11
 - インターネットを使える機械(きかい) 12
 - ホームページの仕組み(しくみ) 14
 - 電子メールの仕組み(しくみ) 15
3. どんな危険(きけん)があるの?16
 - ウイルスってなに? 17
 - コンピュータやサービスを勝手に使われる 18
 - 詐欺(さぎ)などの犯罪(はんざい) 19
 - 個人情報(こじんじょうほう)の悪用 20
4. 安全の基本(きほん)22
 - インターネットを使うルールを守ろう..... 23
 - ウイルス対策(たいさく)をしよう..... 24

パスワードは大切に管理(かんり)しよう.....	25
犯罪(はんざい)に注意しよう	26
「つい、うっかり」に注意しよう	28
ルールやマナーを守って使おう.....	29
5. メールを利用するときの注意	31
迷惑(めいわく)メール	32
チェーンメール.....	33
ウイルス付きのメール	34
6. ホームページを見るとき注意	35
悪いホームページに気をつけよう.....	36
お金のかかるサービスを使うときは家族に相談しよう	37
他人のID(アイディー)・パスワードを使うのはやめよう.....	38
書きこみに注意しよう	39
7. スマートフォンやゲーム機でインターネットを使うときに.....	41
8. SNS(エスエヌエス)を使うときの注意	43

はじめに

ここでは、小学生のみなさんに知っておいてほしい、情報(じょうほう)セキュリティの基本(きほん)について説明(せつめい)します。みなさんが、パソコンやインターネットを使うときに、危険(きけん)なことにまきこまれないために、情報(じょうほう)セキュリティはとても大切です。むずかしい言葉やわからないことは、家族の人や先生に教えてもらいながら、ひとつひとつおぼえていきましょう。



- ▶ 情報(じょうほう)セキュリティって何？
- ▶ ご家庭の方、教育関係者の方へ
- ▶ これだけはやっておきたい三つの情報(じょうほう)セキュリティ対策(たいさく)

情報(じょうほう)セキュリティって何？

情報(じょうほう)セキュリティとは、パソコンなどのコンピュータと、その中にあるさまざまな情報(じょうほう)を守ることを言います。特(とく)に、インターネットを利用(りよう)する場合には、コンピュータや自分の情報(じょうほう)を守るために、たくさんを知っておかなければなりません。

私(わたし)たちが生活している社会において、どろぼうや暴力(ぼうりょく)などの犯罪(はんざい)が起きると同じように、コンピュータの社会にも、情報(じょうほう)が盗(ぬす)まれたり、コンピュータが破壊(はかい)されたりといった犯罪(はんざい)があります。その中で、安全にインターネットを利用(りよう)するには、コンピュータ社会の犯罪(はんざい)から身を守るための情報(じょうほう)セキュリティ対策(たいさく)が必要(ひつよう)です。

たとえば、ウイルス対策(たいさく)をしていなかったために、ウイルスに感染(かんせん)してしまったら、自分だけでなく、友だちなどにも、迷惑(めいわく)をかけてしまうことがあります。また、電子掲示板(でんしけいじばん)やホームページなどで、個人情報(こじんじょうほう)を書きこんでしまうと、大きなトラブルを発生させてしまうかもしれません。



すべての利用者(りようしゃ)が情報(じょうほう)セキュリティに対する正しい知識(ちしき)を持つことが、だれもが安心してコンピュータやインターネットを利用(りよう)できる社会を作りあげることになるのです。

これだけはやっておきたい三つの情報(じょうほう)セキュリティ対策(たいさく)

コンピュータやインターネットを使うときには、かならず次の三つの対策(たいさく)を行いましょう。

- ▶ ソフトウェアの更新(こうしん)をしよう！
- ▶ ウイルス対策(たいさく)ソフトを使おう！
- ▶ パスワードを守ろう！

ソフトウェアの更新(こうしん)をしよう！

ソフトウェアとは、コンピュータの中で、コンピュータを動かす働(はたら)きをしているものです。

悪い人があなたのコンピュータを攻撃(こうげき)しようとしたときに、ソフトウェアの中にかくれている弱点を利用(りよう)することがあります。その弱点をなくすために、これらのソフトウェアを作った会社が、修正(しゅうせい)プログラムを配ることがあります。おもなソフトウェアでは、「ソフトウェアの更新(こうしん)が必要(ひつよう)です」という形で、通知(つうち)が表示(ひょうじ)されることが多くなっています。

この新しいプログラムをパソコンに入れることで、ウイルスに感染(かんせん)したり、大切な情報(じょうほう)を盗(ぬす)まれる危険性(きけんせい)を減(へ)らすことができます。ソフトウェアを最新(さいしん)にすることが必要(ひつよう)なのです。

自分が使っているコンピュータに入っているソフトウェアが最新(さいしん)になっているかどうか、家族の人や先生に確(たし)かめてもらいながら、使うようにしましょう。



ウイルス対策(たいさく)ソフトを使おう！

ウイルス対策(たいさく)ソフトは、あなたのコンピュータがウイルスに感染(かんせん)するのを防(ふせ)いでくれます。



ウイルスは仲間(なかま)を増(ふ)やす機能(きのう)を持っているので、もしもあなたのパソコンがウイルスに感染(かんせん)してしまったら、あなただけでなく、友だちもウイルスに感染(かんせん)させてしまうかもしれません。コンピュータやインターネットを使うときは、かならずウイルス対策(たいさく)ソフトを入れるようにしましょう。

パスワードを守ろう！

パスワードは、コンピュータやインターネットを使うときに必要(ひつよう)な大切なものです。これを悪い人に知られてしまうと、勝手にコンピュータが使われたり、あなたのふりをして、友だちにメールをしたり、インターネット上に書きこみをされてしまうかもしれません。

そのようなことが起きないように、自分のパスワードを他の人に知られたり、教えたりしないよう、秘密(ひみつ)にしておきましょう。



ご家庭の方、教育関係者の方へ

ここでは、主に小学生のお子様を対象に、情報セキュリティの基本を説明しています。小学生のお子様が、自分の力で安全に情報機器やインターネットを使えるようになるまでには、保護者の方や教師の方の援助が不可欠です。また、お子様のインターネットの利用の仕方によっては、犯罪に巻き込まれたり、プライバシーの侵害になる可能性もあります。インターネットを安全に利用するためにも情報セキュリティについて、ぜひお子様と一緒に学習してください。

お子様から内容について質問された場合には、国民のための情報セキュリティサイト(一般向け)の記載も参考にしながら、回答してください。お子様を取り巻くインターネット環境を把握して、お子様がトラブルに巻き込まれたり、犯罪に関わったりすることがないように、十分に注意してください。

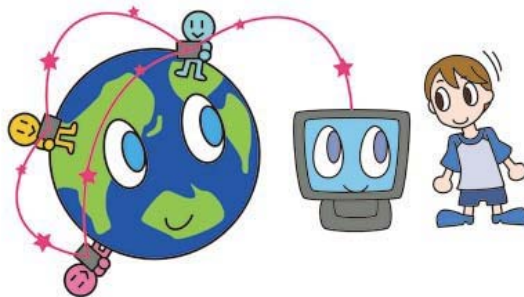
基礎知識(きそちしき)

ここでは、情報(じょうほう)セキュリティ対策(たいさく)をするための大切な知識(ちしき)として、インターネットの仕組みやインターネットを使ってできることを説明(せつめい)します。

- ▶ インターネットって何？
- ▶ インターネットを使える機械(きかい)
- ▶ ホームページの仕組み(しくみ)
- ▶ 電子メールの仕組み(しくみ)

インターネットって何？

コンピュータをケーブルなどでつなぎ、おたがいに情報(じょうほう)をやりとりできるようにした仕組み(しくみ)をネットワークと言います。ネットワークは、まず、家の中や学校の中など、場所(ばしょ)ごとに小さなかたまりが作られています。この仕組み(しくみ)を大きく発展(はってん)させて、家や学校の中だけではなく、世界中のネットワーク同士(どうし)がつながるようにした仕組み(しくみ)が、インターネットです。



インターネットのおかげで、私(わたし)たちは、ホームページで何かを調(しら)べたり、友だちにメールを送ったりすることが、かんたんにできるようになりました。インターネットは、今では、私(わたし)たちの生活に必要なで、いろいろなことを実現(じつげん)するために、なくてはならないものとなっています。

それでは、インターネットでは、どうやってさまざまな情報(じょうほう)をやりとりするのでしょうか。

インターネット上には、他のコンピュータからの命令(めいれい)にしたがって、情報(じょうほう)を表示(ひょうじ)したり、保管(ほかん)したり、別のところに送ったりするパソコンが、たくさん接続(せつぞく)されています。私(わたし)たちがパソコンや携帯(けいたい)電話を操作(そうさ)するとき、実は、これらのパソコンに「ホームページが見たい！」「メールを送って！」などの命令(めいれい)を送っているのです。私たちの命令(めいれい)にしたがって、これらのたくさんのパソコンが働(はたら)くことで、電子メールを送ったり、ホームページを見たりすることができるようになっています。

インターネットを使える機械(きかい)

インターネットを使える機械(きかい)は、端末(たんまつ)などとも呼(よ)ばれ、いろいろなものがあります。

■ パソコン



大きな画面でホームページを見たり、電子メールのやりとりができる代表的(だいひょうてき)なものです。

■ 携帯(けいたい)電話、スマートフォン

携帯(けいたい)電話やスマートフォンでも、インターネットを使うことができます。

スマートフォンとは、パソコンに近い性質(せいしつ)をもった携帯(けいたい)電話です。外出先などでもパソコンで見るホームページを見ることができます。

タッチパネルという、画面をさわって操作(そうさ)する機能(きのう)を持っているものが多く、画面を大きく見やすくしたり、上下に動かしたりすることができます。また、アプリケーション(アプリ)と呼(よ)ばれる追加(ついか)のソフトウェアを入れることによって、ゲームアプリや地図アプリなどの機能(きのう)を自由に追加(ついか)できたりします。

携帯(けいたい)電話やスマートフォンは、デジタルカメラが付いていたり、今いる場所の情報(じょうほう)が使えたり、パソコンにはない便利(べんり)な機能(きのう)もそなえています。



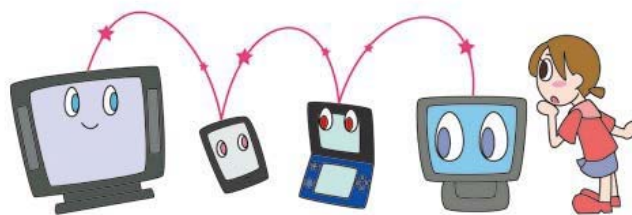
■ タブレット端末(たんまつ)

タブレット端末(たんまつ)は、スマートフォンよりも大きい、板のような形の機械(きかい)です。大きな画面で、スマートフォンと同じようにインターネットを使ったり、タッチパネルの操作(そうさ)や、アプリの追加(ついか)などができます。

■ ゲーム機(き)

ゲーム機(き)は、家でテレビとつなげて遊ぶものと、小さくて持ち運べるものと二つの種類(しゅるい)があります。どちらも、最近(さいきん)発売されたものは、インターネットにつなげられる機能(きのう)があります。

その他にも、テレビやデジタルカメラなども、インターネットを使うことができる機械(きかい)です。これからも、ますますいろいろな機械(きかい)がインターネットを使うことができるようになるでしょう。



ホームページの仕組み(しくみ)

ホームページは、さまざまな会社や個人(こじん)が、気軽(きがる)に多くの人に情報(じょうほう)を発信(はっしん)するための手段(しゅだん)として使われています。ホームページのコンテンツ(内容(ないよう))は、インターネット上にある、ホームページを公開するための専用(せんよう)のパソコンの中に保存(ほぞん)されています。私(わたし)たちの端末(たんまつ)からそのパソコンに命令(めいれい)を送り、パソコンから情報(じょうほう)を送ってもらうことで、ホームページを見ることができます。



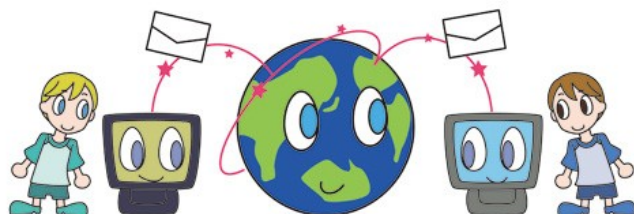
ホームページを見るときには、ウェブブラウザという種類(しゅるい)のソフトウェアを使います。ウェブブラウザにURL(ユーアールエル)と呼(よ)ばれる情報(じょうほう)を入力すると、目的のホームページが表示されます。URLは、「<http://www.soumu.go.jp/>」のように表されます。URLは、ホームページのコンテンツがある場所の情報(じょうほう)、つまりホームページの住所の情報(じょうほう)を表(あらわ)しています。

けれども、ホームページを見るたびに、毎回このようなURLを入力するのはたいへんです。そこで、多くのホームページは、リンクというしかけを、ホームページ内にたくさん持っています。リンクをクリックすると、URLがウェブブラウザに自動的(じどうてき)に入力され、次に見たいホームページに移動(いどう)することができます。

電子メールの仕組み(しくみ)

電子(でんし)メールは、インターネットを使って情報(じょうほう)をやりとりできる仕組み(しくみ)です。手紙をやりとりする仕組みによく似(に)ていますが、やりとりできる情報(じょうほう)は文章だけでなく、写真なども一緒(いっしょ)に送ることもできます。

電子メールを送るときには、メールソフトというソフトウェアで、送りたい人のメールアドレスを指定します。電子メールのアドレスは、たとえば”xxx@example.co.jp”のように表されます。このメールアドレスをたよりに、私(わたし)たちのメールは、インターネット上の多くのパソコンに次々に渡(わた)されながら、相手のパソコンに届(とど)くのです。



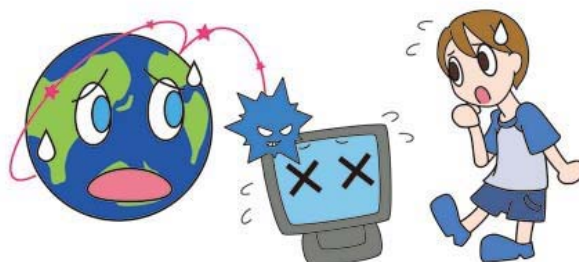
どんな危険(きけん)があるの？

インターネットを使っていると、いろいろな危険(きけん)があります。たとえば、どんな危険(きけん)があるのでしょうか。主なものを説明(せつめい)していきます。

- ▶ ウイルスってなに？
- ▶ コンピュータやサービスを勝手に使われる
- ▶ 詐欺(さぎ)などの犯罪(はんざい)
- ▶ 個人情報(こじんじょうほう)の悪用

ウイルスってなに？

ウイルスとは、コンピュータの中に入りこんで、コンピュータを病気にしてしまう、悪いソフトウェアのことです。パソコンやスマートフォンなどにウイルスが入ってしまうと、大切な情報(じょうほう)が盗(ぬす)まれたり、コンピュータをこわされたりすることがあります。



ウイルスは、病気のウイルスと同じように、自分の仲間(なかま)をふやす機能(きのう)をもっているのです。ウイルス対策(たいさく)をしていないと、あなたの使っているコンピュータだけでなく、友だちのコンピュータもウイルスに感染(かんせん)させてしまうかもしれません。そのためにも、パソコンなどにはウイルス対策(たいさく)ソフトをかならず入れておくことが、インターネットを使う上でかならずやっておくべき対策(たいさく)であり、マナーでもあるのです。

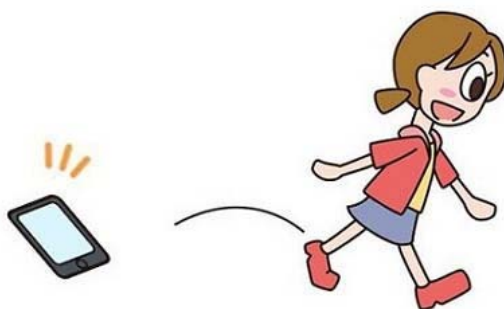
そして、ウイルスにはつぎつぎに新しい種類(しゅるい)のものが登場(とうじょう)します。ウイルス対策(たいさく)ソフトのウイルスを発見(はつじん)するためのデータを、いつも最新(さいしん)のものに更新(こうしん)しておかなければ、最新(さいしん)のウイルスを見つけることができなくなります。

家族(かぞ)の人に、自分の使っているパソコンでウイルス対策(たいさく)や、ソフトウェアが最新(さいしん)に更新(こうしん)されているかどうか、確認(かくにん)してもらいましょう。

コンピュータやサービスを勝手に使われる

インターネットでは、たいていの場合、相手とちよくせつ顔を合わせずに、情報(じょうほう)のやりとりをしています。そこで、もしも悪い人にあなたのコンピュータやサービスを勝手に使われてしまうと、他人からはそれがわからず、あなたがコンピュータを使っておこなったと思われてしまう場合があります。

まず、携帯(けいたい)電話やスマートフォンをなくしたり、盗(ぬす)まれたりしたときに、だれかに使われてしまう危険性(きけんせい)があります。もちろん、なくしたり、盗(ぬす)まれたりしないように注意することが一番大切ですが、それでも事故(じこ)は起きてしまう場合があります。もしもの時のために、ふだんからパスワードなどを使って、携帯(けいたい)電話やスマートフォンにロックをかけておき、だれかに拾われても、中の情報(じょうほう)を見られたり、勝手に使われたりしないようにしましょう。



次に、インターネット上でサービスを利用(りよう)するためには、多くの場合、ID(アイディー)とパスワードが必要(ひつよう)です。このID(アイディー)とパスワードを、他の人に知られてしまった場合、あなたの名前で勝手にサービスが使われてしまう危険性(きけんせい)があります。特(とく)に、仲のよい友だち同士(どうし)でも、家族以外の他人にパスワードを教えるのはやめましょう。もしもだれかに知られてしまったら、パスワードを変更(へんこう)するようにしましょう。



詐欺(さぎ)などの犯罪(はんざい)

インターネットのホームページの中には、うその情報(じょうほう)で見る人をだまそうとするものがあります。たとえば、本当は持っていないのに「ゲームのレアアイテムを売ります」と掲示板(けいじばん)に書きこんで、お金を払(はら)わせてだまし取ったりするのです。

このように、人をだましてお金や品物をうばうことを詐欺(さぎ)といいます。もちろん、詐欺(さぎ)は犯罪(はんざい)です。インターネットのホームページの中には、人をだます情報(じょうほう)が書かれていることもありますので、注意しましょう。

特(とく)に、知らない人同士(どうし)が名前をかくして知り合うことができる、出会い系(けい)サイトやメル友募集(ぼしゅう)サイトには、人をだまそうとする書きこみがあります。知らない人から、「メールアドレスを教えて」「あなたの写真を送って」「会いましょう」などと言われても、絶対(ぜったい)に応(おう)じてはいけません。あなたが犯罪(はんざい)にまきこまれる危険(きけん)がありますので、注意しましょう。



また、いろいろな人が書きこみをするインターネットの電子掲示板(でんしけいじばん)では、いやがらせのために、悪いホームページへむりやりつながせるためのリンクをはりつける場合があります。むやみにリンクをクリックしないようにしなければなりません。

もしもホームページを見ていて、何かおかしいなと思ったり、こまったことが起こったら、自分ひとりで解決(かいけつ)しようとせずに、すぐに家族や近くの大人の人に相談するようにしましょう。

個人情報(こじんじょうほう)の悪用

インターネットに書かれた情報(じょうほう)は、さまざまな人が見ることができます。自分や家族、友だちの名前や連絡先(れんらくさき)などをうっかりインターネットに書きこんでしまうと、さまざまな悪い目的(もくてき)に使われてしまうことがあります。もしかしたら、変な人からいやがらせの電子メールが送られてくるかもしれません。

名前や住所、電話番号、メールアドレスといった一人ひとりの人間に関(かん)する情報(じょうほう)のことを個人情報(こじんじょうほう)といいます。インターネット上では、このような個人情報(こじんじょうほう)を気軽(きがる)に書きこんではいけません。

また、ホームページでサービスを利用(りよう)するために、個人情報(こじんじょうほう)を登録(とうろく)する場合にも、しんちょうに行うようにしなければなりません。これは、そのホームページを作った人が悪意をもっている場合には、登録(とうろく)した個人情報(こじんじょうほう)を他の人に売ってしまったり、手に入れた住所や電話番号を、別(べつ)の悪いことに利用(りよう)したりすることがあるためです。もし、どうしても個人情報(こじんじょうほう)を登録(とうろく)しなければならない場合には、家族の人に内容(ないよう)を確認(かくにん)してもらいましょう。



また、人が他の人に知られたくないと思っている秘密(ひみつ)のことをプライバシーといいます。インターネット上でそのような情報(じょうほう)を勝手に公開することは、他の人のプライバシーの侵害(しんがい)にあたることがあります。

たとえば、自分が知らないところで、友だちがインターネットの電子掲示板(でんしけいじばん)にあなたの名前と学校名、きのうの学校でしっばいしたことを書きこんでいたら、どのように感じるでしょうか。たくさんの人にあなたのしっばいが知られてしまったと思うと、とてもいやな気持ちになるはずです。



このように、他の人にいやな気持ちをさせてしまう情報(じょうほう)を公開することが、プライバシーの侵害(しんがい)にあたります。このような情報(じょうほう)は、公開してはいけません。

それからもう一つ注意しなければならないのは、電子メールなどの内容(ないよう)も個人(こじん)の大切なプライバシーであるということです。つまり、家族や友だちの携帯(けいたい)などを持ち主の許可(きょか)なしに操作(そうさ)して電子メールを読んだりしてしまうのは、プライバシーの侵害(しんがい)になります。そういうことはしないようにしましょう。

安全の基本(きほん)

インターネットには、いろいろな危険(きけん)がひそんでいます。そのように危険(きけん)が多い中で、被害(ひがい)にあわないようにするには、どのようにしたらよいのでしょうか。

ここでは、インターネットを安全に利用(りよう)するための方法(ほうほう)を説明(せつめい)します。

- ▶ インターネットを使うルールを守ろう
- ▶ ウイルス対策(たいさく)をしよう
- ▶ パスワードは大切に管理(かんり)しよう
- ▶ 犯罪(はんざい)に注意しよう
- ▶ 「つい、うっかり」に注意しよう
- ▶ ルールやマナーを守って使おう

【ご家庭の方へ】

- ご家庭の中でのインターネットや情報機器の利用のルールを作り、それを守るようお子様に指導し、約束させましょう。
- 情報セキュリティ対策やそのための設定については、お子様自身にさせるのではなく、できる限りご家庭の方が実施し、定期的に確認してあげるようにしてください。
- ここでは、インターネットショッピング、インターネットバンキングなど小学生が一般に使ってはいけないサービスの注意点は除いています。これらのサービスをお子様を利用しないように、必ず指導してください。SNSや電子掲示板など、お子様が利用しようとしているサービスの内容や規約については、ご家族の方でも確認したうえで、利用させるようにしてください。

インターネットを使うルールを守ろう

学校やふだんの生活の中でルールがあるように、インターネットを使うのにもルールがあります。家庭の中で、ルールを決めてもらってから使うようにしましょう。

たとえば、インターネットのサービスの中には、小学生が使ってはいけないものがあります。はじめて使うサービスの場合は、家族の人に内容を確(たし)かめてもらってから使いましょう。

また、インターネットは家族の人がいるときに使う、決められた時間のあいだだけ使う、などのルールを決めてもらいましょう。そして、決められたルールはかならず守るようにしましょう。



ウイルス対策(たいさく)をしよう

インターネット上では、たくさんのウイルスが活動(かつどう)しています。ウイルスの被害(ひがい)にあわないためには、パソコンやスマートフォンなどインターネットにつながる機械(きかい)に、ウイルス対策(たいさく)ソフトを入れておかなければなりません。

そして、ウイルスにはつぎつぎに新しい種類(しゅるい)のものが登場します。ウイルス対策(たいさく)ソフトのウイルスを発見するためのデータを、いつも最新(さいしん)のものに更新(こうしん)しておきましょう。



また、ふだん使っているいろいろなソフトウェアには、時間がたつとともに、脆弱性(ぜいじゃくせい)と呼ばれる弱点が見つかることがあります。この弱点をそのままにしていると、ウイルス対策(たいさく)ソフトを入れていたとしても、ウイルスに感染(かんせん)してしまったり、悪いホームページを見ただけでパソコンがこわれてしまったりすることがあります。

ソフトウェアに弱点が見つかったら、そのソフトウェアを作った会社が、弱点を直すためのプログラムを配ることがあります。パソコンに、「ソフトウェアの更新(こうしん)が必要(ひつよう)です」などの表示(ひょうじ)が出たら、家族の人などに操作(そうさ)してもらって、ソフトウェアを更新(こうしん)するようにしましょう。

パスワードは大切に管理(かんり)しよう

パスワードは、コンピュータやインターネットを使うときに必要(ひつよう)な大切なものです。パスワードを勝手に使われないよう、管理(かんり)をしっかり行わなければなりません。

パスワードは、まず自分がわすれないようにすることが大切です。わすれてしまっては、インターネットを使うことができなくなってしまいます。

けれども、パスワードを作るときに、自分の名前そのまま(taro、hanako)やかんたんな数字(1111, 1234)だけのものなど、他の人にかんたんにわかるものにしてはいけません。悪い人にパスワードを予想(よそう)されて、使われてしまうかもしれないからです。パスワードは、なるべく長くて複雑(ふくざつ)なものを作るようにしなければいけません。

それでは、パスワードはどう管理(かんり)したらよいのでしょうか。

たとえば、パスワードを覚(おぼ)えられないので、メモに書いてつくえの上にはるとするのはどうでしょうか。これでは、他人からかんたんに見られてしまいますので、してはいけません。もし、自分でメモを作ったときは、他の人に見られないようなところに、大切にしまうようにしましょう。パスワードを自分で管理(かんり)するのが不安な場合は、家族の人に管理(かんり)をまかせるようにしましょう。

作ったパスワードは、メモに書いてつくえの上にはるなど、他の人からかんたんに見えるところに絶対書いたりしないようにしましょう。メモを作ったときは、他の人に見られないようなところに、大切にしまうようにしましょう。



犯罪(はんざい)に注意しよう

インターネットには、子どもをねらって、うその話でだまそうとする悪い大人もいます。たとえば、「ゲームのアイテムが手に入ります」「おこづかいがもらえます」などという言葉でだまそうとしたり、子どものふりをして、「メールアドレスを教えて」「あなたの写真を送って」「なかよくなりたいたいで、一度会いましょう」などとさそいだそうとすることがあります。

でも、インターネットは、やりとりしている相手(あいて)の顔を見ることができません。友だちになったと思っても、もしかしたら、犯罪者(はんざいしゃ)にだまされているのかもしれない。インターネットで出会う人たちが、良い人たちばかりではないということを、しっかりおぼえておいてください。

インターネットで知り合いになったけれども、じっさいに会ったことのない相手からのさそいには、絶対に乗ってはいけません。もし、そういう人から連絡(れんらく)が来たら、かならず家族の人に相談(そうだん)してください。



みなさんを犯罪(はんざい)から守るために、子どもが見ることのできるホームページを安全(あんぜん)なものだけにする「フィルタリング」という仕組み(しくみ)もあります。フィルタリングは家族の人が設定(せってい)してくれます。みなさんが大きくなって、インターネットの危険(きけん)をしっかりと見ぬくことができるようになるまでは、家族の人と約束(やくそく)した安全(あんぜん)なホームページ以外のホームページを見に行くのはやめましょう。



「つい、うっかり」に注意しよう

インターネットでの危険(きけん)は、悪い人たちのしわざばかりではありません。私(わたし)たちの「つい、うっかり」のミスによる事故(じこ)もあります。

携帯(けいたい)電話やスマートフォンをなくしたり、盗(ぬす)まれたりという事故(じこ)が多く起こっています。携帯(けいたい)電話やスマートフォンをなくすということは、「物」をなくしたということだけではありません。中に入っている電話番号やメールの本文の内容、写真など、いろいろな情報(じょうほう)が見られたり、盗(ぬす)まれたりするということでもあります。見られたり、盗(ぬす)まれたりした情報(じょうほう)は、もう戻(もど)ってきません。その情報(じょうほう)が犯罪(はんざい)に使われることもあります。

携帯(けいたい)電話やスマートフォンは大切なものです。家の外では、どこかにおきっぱなしにせず、持ち歩くか、きちんとかばんの中にしまっておくようにしましょう。

でも、そうやって注意(ちゅうい)していても、なくしたり、盗(ぬす)まれたりしてしまうこともあります。もしそうなったときにも、中の情報(じょうほう)を見られたり使われたりしないよう、ふだんからパスワードなどでロック(ろく)するような設定(せってい)をしておきましょう。



ルールやマナーを守って使おう

学校やふだんの生活と同じように、インターネットを使う場合にも、いろいろなルールやマナーがあります。家族の人といっしょに、インターネットを使うときのルールやマナーについて、話し合ってみましょう。

■ インターネットにのめりこまないようにしよう

皆さんは、食事中にも携帯(けいたい)電話でインターネットをしたり、夜おそくまで友だちとメールをしたりしていませんか？せっかく便利(べんり)なインターネットも、夢中(むちゅう)になりすぎて、周(まわ)りの人たちのことが見えなくなってしまうたり、体を壊(こわ)してしまうインターネット中毒(ちゅうどく)になってしまえば、意味(いみ)がありません。

たとえば食事中は携帯(けいたい)電話をさわらない、インターネットは一日のうち時間をきめて使う、などのルールやマナーをしっかり守って、使うようにしましょう。

■ インターネットに書きこむときは、見る人の気持ちを考えよう

電子掲示板(でんしけいじばん)などに、だれかの悪口や、他の人が気分を悪くするようなことを書きこんだりしないようにしましょう。ふだんの生活の中で、悪口を言ったり、いやがらせをするのがいけないのと同じことです。特(とく)に、電子掲示板(けいじばん)は、多くの人が見るものなので、悪口を書かれた人がそのことを知ったら、とてもつらい気持ちになるでしょう。みんながインターネットを気持ちよく使えるように、書きこみには注意しましょう。

■ ホームページの文や写真を勝手に使わないようにしよう

もう一つ、インターネットを使うときの大切なルールがあります。それはホームページに公開されている文や写真などは、多くの場合、作った人のものなので、作った人に使っていいかを聞(き)かずに、勝手にコピーして使ってはいけないということです。勝手に使ってしまうと、場合によっては、法律違反(ほうりついはん)になることがあります。

ホームページの中には、他の人が文や写真を使うことを許可(きょか)しているところもあります。家族の人や先生に確(たし)かめてもらいながら、利用(りよう)するようにしましょう。



メールを利用するときの注意

メールはだれでもかんたんに送ることができるため、使っているうちに、知らない人からメールが来ることもあります。しかし、その中には悪い目的(もくてき)で送られてくるものもあります。

ここでは、メールを使うときの注意点について説明(せつめい)します。

- ▶ 迷惑(めいわく)メール
- ▶ チェーンメール
- ▶ ウイルス付きのメール

迷惑(めいわく)メール

受け取る人が望(のぞ)んでいないのに、一方的(いっぽうてき)に送られてくるメールのことを迷惑(めいわく)メールと呼(よ)んでいます。また、いやがらせのために送りつけられるたくさんの意味のないメールも、迷惑(めいわく)メールのひとつです。詐欺(さぎ)やウイルス感染(かんせん)をさせるためのあやしいホームページへのリンクをはりつけてきたり、あやしい商品の売りこみなどが書かれていることが多く、スパムメールとも呼(よ)ばれています。

最近(さいきん)では、携帯(けいたい)電話やスマートフォンのメールアドレスへの迷惑(めいわく)メールが急に増(ふ)えたことが大きな問題となっています。このような迷惑(めいわく)メールを受け取らないようにするためには、必要(ひつよう)もなく自分のアドレスを他の人に教えない、電子掲示板(でんしけいじばん)などに書きこまない、長くて複雑(ふくざつ)なメールアドレスを使うことなどが大切です。



【ご家庭の方へ】

お子様自身でパソコンや携帯電話の迷惑(めいわく)メールのブロックの設定ができない場合は、ご家庭の方が手伝ってあげてください。このような設定だけでなく、携帯電話会社やインターネットサービスプロバイダのフィルタリングサービスなどを一緒に利用して、効果を高めてください。

チェーンメール

友だちから「他の友だちにも教えてあげてね」や「できるだけ多くの人に広めてください」、「このメールを10人に送らないと不幸(ふこう)になります」などというメールを受け取ったことがありますか。このような文によって、わざとメールを広めさせるようなしかけがしてある電子メールをチェーンメールと呼(よ)びます。チェーンメールは、メールを受け取った人がつぎつぎと友だちにメールを送るために、あっという間に広まってしまいます。

でも、自分がこのようなチェーンメールを受け取っても、決して他の人には送ってはいけません。なぜなら、多くのチェーンメールの内容(ないよう)には、証拠(しょうこ)がなく、いたずら目的(もくてき)の「うそ」や「デマ」が含ま(ふく)まれている場合も多いからです。また、チェーンメールは、メールを送った相手に、メールを広めるように強制(きょうせい)するものなので、それ自体が、そもそもとても迷惑(めいわく)な行為(こうい)なのです。

もしかしたら、自分のところでチェーンメールをとめてしまうのは、不安に感じるかもしれませんが、友だちに被害(ひがい)を広めないためにも、転送(てんそう)せず、すぐに家族の人や先生に相談するようにしましょう。

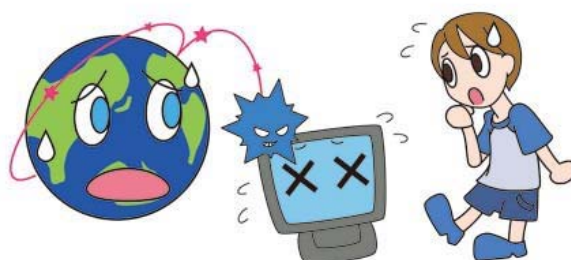


ウイルス付きのメール

迷惑(めいわく)メールなどの中には、ウイルスのついたメールが送られてくることがあります。ウイルスは、たいていの場合、メールの添付(てんぷ)ファイルや、リンク先のホームページにひそんでいます。知らない人からきたメールの添付(てんぷ)ファイルやリンクは、絶対開かないようにしましょう。

また、こまったことに、ウイルス付きのメールは、友だちの名前を使って送られてくることがあります。メールは、くわしい人が操作(そうさ)すると、送信者(そうしんしゃ)の名前にうその情報(じょうほう)を書きこむことができるためです。中には、自分の名前でメールが送られてくることがあります。

友だちから来たメールでも、内容(ないよう)がなんだかおかしいと思ったら、それはウイルス付きのメールかもしれません。そのときは、かならず家族の人に相談するようにしましょう。



ホームページを見るとき の注意

インターネットで公開されているホームページは、便利(べんり)で楽しいものばかりではありません。中には、悪いホームページがあり、私(わたし)たちをだまそうとしたり、ウイルスに感染(かんせん)させようとしたりすることがあります。

また、インターネットで利用(りよう)するサービスには、お金がかかることもあるので、気づかないうちにそういったサービスを利用(りよう)してしまわないようにすることも大切です。

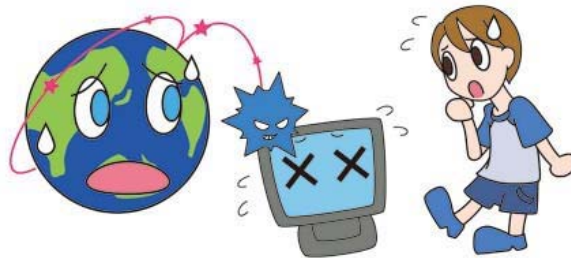
ここでは、ホームページを見るとき、どのようなことに注意すればよいのかを説明(せつめい)します。

- ▶ 悪いホームページに気をつけよう
- ▶ 他人のID(アイディー)・パスワードを使うのはやめよう
- ▶ お金のかかるサービスを使うときは家族に相談しよう
- ▶ 書きこみに注意しよう

悪いホームページに気をつけよう

インターネット上には、悪い人たちが作ったホームページもたくさんあります。そのようなホームページは、私(わたし)たちをだまそうとしたり、ウイルスに感染(かんせん)させたり、私(わたし)たちの情報(じょうほう)を盗(ぬす)もうとしたりします。

そのようなホームページにつながらないようにするためには、まずは、ウェブフィルタリング機能(きのう)を持ったウイルス対策(たいさく)ソフトをパソコンに入れておくことが重要(じゅうよう)です。また、電子掲示板(でんしけいじばん)や迷惑(めいわく)メールには、悪(わる)さをするホームページへ移動(いどう)するためのリンクをはりつけてある場合があるので、むやみにリンクをクリックしないようにしなければなりません。



お金のかかるサービスを使うときは家族に相談しよう

インターネットには、動画(動画)やオンラインゲームなど楽しいホームページがたくさんありますが、これらのサービスを利用(りよう)するときにも、気をつけなくてはいけないことがあります。

たとえば、オンラインゲームでは、「無料(むりよう)ゲームサイト」と書かれたホームページがあります。最初(さいしょ)は確(たし)かに無料(むりよう)で、気軽に遊ぶことができるのですが、途中(とちゅう)からアイテムなどを買うときに有料(ゆうりよう)となり、最後(さいご)にはたくさんのお金を使ってしまう場合があります。また、ゲームアイテムの交換(こうかん)や、買ったり売ったりするときでも、たくさんのお金を使ったり、悪(わる)い人にだまされたりすることがあります。

特(とく)に、携帯(けいたい)電話やスマートフォンを使ってゲームをしていると、お金がかかっていることがわからないことがあるので、注意(ひつよう)が必要です。オンラインゲームなどをするときには、家族(かぞ)の人の許可(きょか)をもらってから、遊ぶようにしましょう。



他人のID(アイディー)・パスワードを使うのはやめよう

オンラインゲームなどにログインするときを使う、ID(アイディー)やパスワードは、あなたや友だちなど、利用者(りようしゃ)一人一人に配られている身分証(みぶんしょう)のようなものです。インターネット上で、あなた自身を表す大事なものですから、友だち同士(どうし)で一緒(いっしょ)にオンラインゲームで遊ぶ場合も、むやみに自分のID(アイディー)やパスワードを教えたり、友だちに聞いたりすることはやめましょう。



もしも友だちから聞いたID(アイディー)やパスワードを使って、友だちの許可(きょか)なしに勝手にゲームを利用(りよう)したら、法律(ほうりつ)違反(いはん)になる場合もあります。絶対にしないようにしましょう。

【ご家庭の方へ】

お子様が動画サイトやオンラインゲームのサイトを利用される場合には、課金されるものがあることを説明し、許可なく利用させないようにしましょう。

また、本人に無断で、他人のID・パスワードを用いてオンラインゲームなどのサービスを利用することは、「不正アクセス行為の禁止等に関する法律」に違反する可能性があります。実際に、小中学生が補導された事例もありますので、特にお子様の利用実態を把握し、そういった行為が禁止されていることを指導するようにしてください。

書きこみに注意しよう

名前や住所、電話番号、メールアドレスといった一人一人についての情報(じょうほう)のことを個人情報(こじんじょうほう)といいます。インターネットはいろいろな人が利用(りよう)するため、これらの個人情報(こじんじょうほう)を、電子掲示板(でんしけいじばん)などに書きこまないように注意しましょう。インターネットを利用する人の中には、悪い人もいますからです。

たとえば、電子掲示板(でんしけいじばん)に自分のメールアドレスを書きこんだら、悪い人からいやがらせのメールが送られてくるかもしれません。自分の個人情報(こじんじょうほう)だけでなく、家族や友だちの個人情報(こじんじょうほう)も、同じように注意が必要です。



また、インターネットでは、どんな人が見ているかがわからないため、書きこむ内容(ないよう)に注意しなければなりません。だれでも、自分の秘密(ひみつ)をできるだけ他の人には知られたくはないはずです。そのため、他の人のプライバシーに関することを勝手に公開しないようにしましょう。



また、インターネットのホームページや電子掲示板(でんしけいじばん)などに、自分が知らないうちに自分の名前、住所や電話番号、写真のような個人情報(こじんじょうほう)が公開されてしまったら、犯罪(はんざい)などに使われたりしないよう、できるだけ早く削除(さくじょ)してもらおうようお願い(ねが)いしなければなりません。

これらの個人情報(こじんじょうほう)の削除(さくじょ)をお願い(ねが)いするには、そのホームページや電子掲示板(でんしけいじばん)を家族の人や先生に見てもらって相談してください。

【ご家庭の方へ】

お子様がインターネットを使う場合に、どのようなサービスを利用し、どのような情報を書き込んでいるか、把握できるようにしておきましょう。必要以上にプライバシー情報を公開したり、他人のプライバシーの侵害などをしていないか、確認してください。

特にプロフィールの情報に関しては、お子様が犯罪に巻き込まれ易いのでお子様任せにせず、ご家庭の方が確認しながら書き込ませるようにしましょう。また、自分の個人情報がインターネットに書かれたりした場合は、必ず大人に相談するように、お子様を指導しましょう。削除依頼をする場合は、ご家庭の方がするようにしてください。

その他、お子様が判断に困った場合は、お子様自身でさせずに必ず報告させ、ご家庭の方が判断をするようにしてください。

スマートフォンやゲーム機でインターネットを使うときに

スマートフォンは家の中だけでなく、外に持ち出してもいろいろ便利(べんり)に使えますが、その一方で、気をつけなくてはならないこともあります。

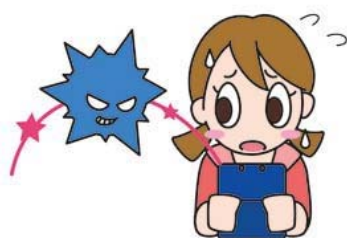
あやしいアプリケーションをダウンロードすることなどで、ウイルスに感染(かんせん)することもあります。また、スマートフォンの中には電話番号やメールアドレスが書かれたアドレス帳やメールの内容(ないよう)、自分のいる位置(いち)がわかる情報(じょうほう)、プライバシー情報(じょうほう)など、いろいろな情報(じょうほう)が入っています。スマートフォンを利用(りよう)する場合には、ウイルスに感染(かんせん)したり、なくしたり盗(ぬす)まれたりしないよう、携帯(けいたい)電話にくらべてよりいっそうの注意が大切です。



もし、どのように使うのかわからない場合は、自分だけで判断(はんだん)せず、家族の人や先生など、大人のくわしい人に聞くようにしましょう。

ゲーム機(き)も携帯(けいたい)電話やスマートフォンと同じようにインターネットにつながることができるコンピュータの1つです。つまり、携帯(けいたい)電話やスマートフォンと同じような危険(きけん)があるということです。

パソコンやスマートフォンと同じように、インターネットを見るときにはあやしいホームページなどにつながないようにしましょう。



【ご家庭の方へ】

お子様にスマートフォンやゲーム機を使わせる場合は、特にインターネットの利用について、どんな使い方をしているか定期的にチェックしましょう。また、できる限り、フィルタリングサービスやペアレンタルコントロールを使いようにしましょう。

SNS(エスエヌエス)を使うときの注意

SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)は、友だちや、同じ趣味(しゅみ)の人同士(どうし)が交流(こうりゅう)できるサービスです。パソコンだけではなく、携帯(けいたい)電話やスマートフォンなど、インターネットに接続(せつぞく)できるさまざまな機器(きき)で、いつでもいろいろな場所で使うことができます。



多くのSNSでは、自分のホームページを持つことができ、そこに自分のプロフィールや写真などをのせられます。ゲームをしたり、アプリケーションをインストールすることにより、機能(きのう)を追加(ついか)したりすることもできます。

SNSは、とても身近で便利(べんり)ですが、気をつけなくてはいけないこともたくさんあります。たとえば、プロフィールに書いた内容(ないよう)は様々な人たちにも見られてしまいます。その中に見られたくないプライバシーの情報(じょうほう)があつたりしないか、確(たし)かめて書かないようにしましょう。

また、アプリケーションには、悪いものもあります。インストールをするときは、できるかぎり自分でせず、家族の人にしてもらいましょう。



SNSでは、うそのプロフィールをのせて、他の人たちをだまそうとする人もいます。たとえば、小学生になりすましている大人もいます。そのような人たちからの被害(ひがい)にあわないためにも、「一度、会いましょう」などのさそいには、絶対に乗らないようにしてください。

そのほか、SNSでは、他人のことをからかうなど、面白がって書いたり、相手の悪口などの書きこみが原因(げんいん)で、トラブルになることもあります。書きこみをするときには、本当にそれが、みんなの見るSNSに書きこんでもよい内容(ないよう)なのか、考えてみるようにしてください。相手の嫌(いや)がることや悪口、相手のプライバシーなどは書かないようにしましょう。

【ご家庭の方へ】

SNSは、お子様が犯罪に巻き込まれる原因にもなっています。多くのSNSでは「利用規約」と呼ばれる、登録のときのルールが決められています。小学生が使ってはいけないSNSも多くあります。お子様に使わせる場合には、まず「利用規約」を読み、登録や利用のできる年齢であるか、内容や利用するときに問題がないかどうかを必ず確認してください。

お子様に利用させる機器には、フィルタリングやペアレンタルコントロール(視聴制限機能)の導入や設定をするようにしてください。アプリケーションをインストールする場合も、不正なものをインストールしないよう、ご家庭の方が確認するようにしましょう。

また、お子様のアカウント名などを確認しておき、どのような投稿をしているかを検索、チェックできるようにしておく、などの対策も検討しておきましょう。

このテキストに関する問い合わせ先

総務省 情報流通行政局 サイバーセキュリティ課
Email: kokumin-security@ml.soumu.go.jp

- 国民のための情報セキュリティサイト
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/security/
- キッズページ
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/security/kids/
- このテキストの利用規約
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/security/guide.html